

# Weekly Bulletin

2023-2024



RI会長  
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

## 静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
川口尚宜

第 3077 回例会

令和5年10月12日

《司会》 宮崎貴久 君

《合唱》 「静岡東ロータリー」

《ソングリーダー》 雨宮大地 君

《ゲスト》 無し

《ビジター》 無し

《本日のお祝い》

・結婚記念日

10月12日 宮城展代 君

10月18日 由利浩志 君

・ロータリー米山記念奨学金より感謝状

長田きみの 君

望月康弘 君

《会長挨拶》 川口尚宜 会長

本日は、私の仕事の専門でもあります9月に発生した駅弁の食中毒事故についてお話します。当社は、お弁当スタイルの食事提供はしていませんが静岡、神奈川、埼玉にて1日2万食の食事を幼稚園保育園、学校、高齢者福祉施設、病院などの87事業所で提供しています。今日も2万食提供しています。

9月に発生した青森県八戸市にあるお弁当製造「吉田屋」さんが製造した駅弁21種を食べた北海道から九州までの全国29都道府県の521人が嘔吐下痢などの症状を訴え、八戸市保健所は黄色ブドウ球菌・セレウス菌による食中毒と断定しました。まず、521人という人数も驚きですが、消費期限の短い駅弁が北海道から九州まで即日配送され全国で売れるんだということもビックリしました。しかも、静岡県

が122人で患者数トップ、2番目以下は埼玉56人、福島53人、東京49人ですのでいかに静岡が多かったかわかります。静岡では、主にドラッグストアのK林堂、お母さんという意味の英語のスーパーマーケットにて販売されたということです。静岡県では、北海道フェアや駅弁祭りなどのイベント人気が全国の他の地域よりあるということなのか、吉田屋さんの駅弁をたまたま多く発注したのかはわかりませんが食中毒になってしまった方々の一日も早い体調回復をお祈り致します。

この食中毒の原因菌は、黄色ブドウ球菌とセレウス菌ですが、この2つの食中毒菌は、土の中に普通にいたりホコリに付着して空気中を浮遊している常在菌です。黄色ブドウ球菌は、手の傷で増えるということが言われ傷がなければ大丈夫と思っていましたが、傷がなくても手、鼻腔、のどに付着していると聞きました。黄色ブドウ球菌もセレウス菌もそれ自体は害がありません。ところが、①菌+②餌になるタンパク質+③一番増える30~50℃の温度の3つの条件が揃うと萌芽という芽を出し、この萌芽がエントロキシンという有害物質を出します。エントロキシンが嘔吐下痢を引き起こすのです。萌芽が一旦出来てしまうと100℃30分加熱してもエントロキシンは不活性になりません。良く起きる原因食品に主食が多いのはこのためです。例えば、学園祭やお祭りなどで大量につくられた焼きそばやチャーハンが売れずに残っていた場合に発生することが多いです。今回は、白米が原因ということです。

予防方法ですが、保健所で言われるのが①つけない、②増やさない、③やっつけるです。具体的には①つけないは、そもそもの原因菌を手洗い・消毒で厨房内に持ち込まない。②増やさないは、厨房内温度を25℃以下にキープ

し、加熱終了後の食品は30分以内に20°C以下に下げ、  
③やっつけるは、加熱調理時に食品の芯温85°C90秒以上加熱する。となります。

保健所で把握する食中毒の原因菌は様々ありますが、その菌が増殖し食中毒を起こすプロセスは90%が、先ほどの菌が増える3要素が同時に起こっています。この3要素の1つでも断ち切れれば食中毒はおきません。そのために我々プロは、2つのことを実行します。一つ目が「手洗い」です。外から厨房内に入る時は、ひじまで30秒2回洗いアルコール消毒をします。以降は、作業が変わる度と厨房外から厨房内に戻る時に手洗いとアルコール消毒をセットで行います。二つ目が「温度と時間の管理」をします。温度はテンパーチャー、時間がタイムなのでTT管理という言い方をします。

まとめると食中毒を防ぐために、①手洗いと②TT管理を行う。これで90%の食中毒が防げる。目的は、手洗いで菌を付けない、TT管理で菌を増やさずやっつける、となります。

本日は、以上です。

### 《ロータリーの友コーナー》

飯塚潤 君

10月号に載っていた、八潮南RCと台湾の基隆東RCとの4年ぶりの交流という感動的な記事を見て、自身が所属していた静岡青年会議所と韓国の仁川青年会議所との交流を思い出しました。当時、仕事の話や子供の話などお互いを行き来して友好



を深めました。こうした国際交流をきっかけに、今ではシンガポールやパキスタンやグルジアの人とコミュニケーションをとって仕事をしています。10年前20年前では印刷会社と国際化は無縁と思っていましたが、今では欠かせない繋がりになっています。自分の子供たちは国際化を意識しない世代になるのだと思います。私自身はロータリーの仲間との交流に感謝しもっともっと大切にしていきたいと思っています。

### 《会員卓話》

栗田英行 君 「自己紹介：栗田英行と申します」

### 《卓話サマリー》



#### 1.自己紹介

- ・出身地：静岡市駿河区富士見台～高松
- ・生年月日：1967年12月16日
- ・最終学歴：静岡県立静岡工業高等学校機械科卒
- ・星座/血液型：いて座/B型
- ・家族構成：妻・長男夫婦・孫ひとり
- ・やりがい：仕事
- ・いきがい：楽しい時間を作る事
- ・将来の夢：車で日本一周一人旅

#### 2.自身と会社の沿革

- ・昭和62年：栗田静電 個人創業（静電植毛加工業）
- ・平成05年：入社（25才）
- ・平成10年：組立事業開始（30才）
- ・平成14年：法人化、代表取締役役に就任（34才）
- ・平成26年：デザイン事業開始（47才）
- ・令和04年：初孫誕生、翌日母他界、2か月後父他界
- ・令和04年8月：静岡東RC入会

#### 3.業務紹介

栗田静電は、塗装業は既に廃止しており、製造部とデザイン事業部が主となっています。製造部は、機械の性能が上がって自動化が進む時代に、自動化困難な部品組み立て作業を担っています。典型的な労働集約型企業です。主な製

品は、冷蔵庫部品の「冷氣送風装置」。冷気を無駄なく各室に送る装置で年間約 30 万台を生産。そして、エアコン部品の「通風路 BOX」の組み立ても担っています。これはファンや熱交換器やフィルターをすべて受けとめている部品で、年間約 40 万台を生産しています。人から人をバトンリレーのように繋いで製品を作っているので、「次の人への思いやり、仲間のために繋ぐ心」「次工程はお客さま、感謝を込めてまたひとつ」という気持ちを大切にしています。

また、デザイン事業部では展示会の設計・施工・デザインから、名刺・チラシ・看板・HP の作成までやっていて、三菱電機ほかの展示スペースを担当しています。

永遠の経営課題は「最適生産効率を求める仕組みづくり」で、人の手で製品をつくっているため、毎日ベストな工程配置で生産できるかが鍵になります。現在、産学共同研究制度を使い、自社のこれまでのスキルをベースに AI を活用した従業員配置自動化システムの研究を始めています。

#### 4.健康経営

現在、5 か国の社員が仲間として頑張っていて、新年会、BBQ 会、ボウリング大会など、年に数回の社内イベントにより従業員の結束を高め、健康経営を目指して生産活動に尽力しています。

#### 5.将来の夢

1968 年製の愛車アルファロメオで日本一周の旅を夢見ています。

#### 《所感》

ロータリーの例会でみなさまとたくさんの時間を共にし、たくさんの楽しい会話をしていますが、一人ひとりの仕事の内容や課題まで聞く機会はなく、今回の栗田会員のお話しはたいへん勉強になりました。

人と人がつながってひとつの製品を組み上げていくという事業内容によるものかも知れませんが、従業員の方たちやその繋がりを大切にしている姿勢が随所に見られ、お人柄を感じる素敵な卓話でした。

#### 《スマイル報告》

宮城展代 君（誕生日と結婚記念日の御礼）

山下勝央 君（栗田会員の卓話に感謝）

中島浩二 君（親睦スマイル当番と会報当番に感謝）

（会報作成 中島浩二）